

参院選へ「本気の共闘を」

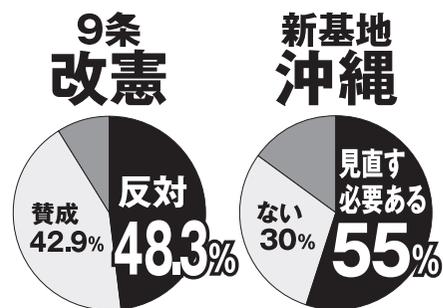
1人区一本化確認、協議加速へ



討論する6野党・1会派の書記局長・幹事長 11月28日

来年の参院選での安倍改憲阻止と政権打倒に向けた市民と野党の共闘の実現をめざすシンポジウムが開かれ（11月28日、東京都内）、日本共産党、立憲民主党、国民民主党、無所属の会、自由党、社民党の5野党・1会派の書記局長・幹事長が一堂に会しました。全国32の1人区での候補者一本化を確認し、争点の明確化と共通政策の充実、選挙協力に向けた協議の加速を議論しました。

日本共産党の小池晃書記局長は「すでに1人区一本化は共通の思いのほず。まずはそのことを確認し、具体的な議論に入っていく時期ではないか」と発言。立憲民主党の福山哲郎幹事長は「努力は惜しまない」とのべました。



臨時国会への改憲案提出について「産経」10月16日付 辺野古移設について「朝日」10月16日付

安倍サン 国民の声を聞きなさい!

消費税10%、9条改憲、沖縄新基地—世論調査で反対多数となっても、国民の声にまったく耳を貸さずに暴走する安倍政権。ブレーキが壊れ、右にしか切れないハンドルで、日本を破滅の道に引き込んでいます。

10%中止、改憲ストップ、米軍新基地ノー。日本共産党は市民のみなさんと力をあわせてがんばります。

日本共産党

目に余る 安倍政権 大暴走



国会軽視の暴走が極まる安倍政権。国民に説明できない弱さの現れです。選挙で厳しい審判を下し、退陣に追い込みましょう。

憲法審査会を一方的に開催

与党は衆院憲法審査会を会長職権で一方的に開催しました。与野党の合意で審査会を運営するという最低限の“おきて”さえ踏みにじる行為。自民党の国対委員長はこの暴挙が官邸主導で行われたことを告白しています。

入管法改定 衆院で強行

外国人労働者の受け入れを拡大する出入国管理法改定案。受け入れ業種や規模・人数など具体的なことは全て「省令以下」に委ねる“空っぽ”法案。衆院法務委の実質審議はたった15時間。首相の外交日程に合わせた強行です。

日口領土交渉 答弁を拒否

河野太郎外相は日口領土交渉に臨む政府の基本的姿勢をただされると「交渉に不利になる」と答弁を拒否。「(日口)平和条約を締結した際には国会に示す」と言い放ちました。条約締結までは秘密裏に交渉するという宣言です。